

GO GREEN 緑でいこう

地球ひとつで生きる



4/21 宇都宮市議選、緑の党代表協議会委員のいいてい昌子さんと上田初当選、長年の地域活動を背景に、緑の党選挙スクールで学びバックアップを受けて準備を進めてきた

5/10 来日中の元フィリピン緑の党のリオール・サントス氏と懇談し、統一自治体選に向けた応援ビデオメッセージを託した。5/13緑の党用結成を志す候補2人が当選!

5/25 東京で、参院選推薦候補の佐藤ありさんと石川大我さんをゲストに「政策討論会 推薦候補と考える参院選の争点と緑の未来」を開催。当事者を政策決定の場に押し出そう!

政治の流れを変える参議院選挙に

争点は— 憲法、税と社会保障 そして— 気候変動、フェミニズム



注*ただし、野党統一候補についてはその意思に基づいています。

5月末の欧州議会選挙では、危惧された右派政党は微増にとどまり、緑の党やリベラル政党が躍進しました。日本でも、その流れを実現するために、緑の党は全力をあげて参院選に取り組みます。

私たちが、この安倍政治の流れを転換させる参院選とするために、「脱原発・再生可能エネルギーの推進と地球温暖化の防止」「民主主義の尊重」「憲法9条改憲に反対する」「持続可能な経済」「公正な税負担で格差と貧困をなくす」「女性議員を増やし、多様な人々が平等に働き暮らせる社会をめざす」という4項目の政策協定に基づいて、推薦・支持候補を決めています。

これ以上、安倍政権を続けさせるわけにはいきません。6年半もの長期政権のもとで、安倍政権は、80%の人々が将来不安をいだくにいたる経済・税・社会保障政策を進め、後ろ向きな気候変動対策と原発促進政策を選択し、憲法改悪の意思を改めて表明しています。そして、「政治分野の男女共同参画法」が成立したにもかかわらず、自民党は前回参院選よりも女性候補比率を下げています。

北海道 ①

青森 ①	岩手 ①
秋田 ①	宮城 ①
山形 ①	石垣のりこ 立新 推薦
新潟 ①	福島 ①
うち越さくら 無新 推薦	栃木 ①
富山 ①	加藤ちほ 立新 支持
岐阜 ①	茨城 ②
山梨 ①	千葉 ③
いちき伴子 無新 支持 サポーター	浅野ふみ子 共新 支援
長野 ①	長浜ひろゆき 立現 支援
羽田雄一郎 国現 支持	埼玉 ③
東京 ⑥	東京 ⑥

比例代表候補者

仲村みお 社新 推薦 サポーター	佐藤かおり 立新 推薦 サポーター	石川大我 立新 推薦 サポーター	若林ともこ 立新 推薦	おしどりマコ 立新 推薦	大椿ゆうこ 社新 推薦
---------------------	----------------------	---------------------	----------------	-----------------	----------------

福岡 ③	山口 ①	鳥取・島根 ①	兵庫 ③	福井 ①	石川 ①
佐賀 ①	広島 ②	岡山 ①	大阪 ④	山田かずお 共新 支持	滋賀 ①
長崎 ①	愛媛 ①	香川 ①	京都 ②	かた由紀子 無新 支持	静岡 ②
熊本 ①	大分 ①	おだ美和子 無新 推薦	奈良 ①	徳川家広 立新 推薦 サポーター	愛知 ④
鹿児島 ①	宮崎 ①	高知・徳島 ①	和歌山 ①	田島まいこ 立新 推薦	すやま初美 共新 推薦
沖縄 ①			ふじいみさお 無新 支持	三重 ①	

社 社会民主党 立 立憲民主党 国 国民民主党 共 日本共産党 無 無所属

※都道府県名右の数字は選挙区の定数
6月17日現在の候補予定者
追加決定はHP参照
<http://greens.gr.jp/senkyo/25495>

世界のみどり

希望は緑

欧州議会選挙で緑の党が大躍進! ドイツでは初の支持率トップに!

5月27日の欧州議会選挙で緑の党は予想を大きく上回る69議席(9.18%)を獲得、第4党となりました。世界的な気候変動対策を求める運動の盛り上がりや、結成当初から地球環境問題を大きな柱として掲げてきた緑の党が支持されたのです。二大政党の保守党と社会民主党は議席を減らし、社会民主

党が新自由主義的な転換を行ったことで失った票の多くも緑の党に移ったようです。一貫して移民受け入れとEUの統合を進める姿勢を貫いたことも、緑の党の評価につながったと考えられます。移民排斥や、EUに懐疑的な右派政党が予想に反して微増に留まり、不寛容・一国主義的な政治勢力が台頭した近年の政治

状況において、大いに希望の持てる結果です。そして、ドイツでは欧州議会選挙後の世論調査で、緑の党の支持率が27%と二大政党を抜いて初めてトップになりました。世界の緑の党と連携して引き続き気候変動問題に取り組み、政治への希望を喚起できるよう緑の旗を掲げ続けます。



欧州議会・緑の党リーダーのバス・エイクハウト(オランダ)とスカ・ケラー(ドイツ)



緑の党 クリーンズジャパン
<http://greens.gr.jp>
地球ひとつで生きる

2019 統一自治体選

全国的に自民党が議席を増やし立憲野党には厳しい結果となりましたが、緑の党は公認はじめ会員の現職候補は全員当選するなど、連携する市民派候補も含めて健闘し現状を維持することができました。当選したみなさんと8月の予定です。

投票日	自治体名	議員名	現	非	公
2/28	北海道	東川町議選 鈴木かなみ	新	サ	推
	神奈川県	横浜市議選(港北区) 大野トモイ	新	サ	推
	新潟県	新潟市議選(西区) 中山 均	現	会	公
	静岡県	県議選(駿河区) 杉山あつし	新	サ	推
	大阪府	府議選(島本町・高槻市) のうえ愛	新	サ	推
		県議選(尼崎市) 丸尾 牧	現	会	推
4/7	兵庫県	神戸市議選(中央区) あわはら富夫	現	非	推
		神戸市議選(灘区) 小林るみ子	現	非	推
		神戸市議選(垂水区) 高橋ひでのり	新	サ	推
	岡山県	岡山市議選(北区) 鬼木のぞみ	現	会	推
		県議選(岡山市北区・加賀郡) 大塚 愛	現	非	推
	福岡県	福岡市議選(早良区) あらき龍男	現	会	公
		県議選(大分市) 後藤慎太郎	現	サ	推
	大分県	県議選(別府市) 原田孝司	現	サ	推
		二セコ町議選 斉藤うめ子	現	会	推
	北海道	旭川市議選 宮崎アカネ	新	サ	推
		旭川市議選 江川あや	新	サ	推
	栃木県	宇都宮市議選 いでい昌子	新	会	推
		江東区議選 中村まさ子	現	会	推
		北区議選 福田光一	現	サ	推
		大田区議選 奈須りえ	現	サ	推
		練馬区議選 池尻成二	現	非	推
		練馬区議選 岩瀬たけし	現	非	推
		練馬区議選 高口ようこ	現	非	推
		杉並区議選 そね文字	現	非	推
		杉並区議選 奥田雅子	現	非	推
		世田谷区長選 保坂のぶと	現	非	推
		国立市議選 重松朋宏	現	会	公
		小平市議選 橋本久雄	現	会	公
		三鷹市議選 嶋崎英治	現	サ	推
		清瀬市議選 ふせ由女	現	サ	推
		羽村市議選 山崎陽一	現	非	支
4/21	千葉県	白井市議選 小田川あつ子	現	会	推
		成田市議選 会津素子	現	会	推
		館山市議選 石井敏宏	現	サ	支
	石川県	金沢市議選 くまのもりお	現	サ	推
		沼津市議選 江本こうじ	現	会	推
	静岡県	沼津市議選 山下ふみこ	前	会	推
		吉田町議選 中田ひろゆき	新	サ	推
	岐阜県	岐阜市議選 小森忠良	新	サ	推
		豊田市議選 岡田耕一	現	サ	支
	愛知県	安城市議選 石川 翼	現	非	推
		江南市議選 山としひろ	現	非	推
	京都府	京田辺市議選 吉高ゆかこ	新	サ	推
		高槻市議選 高木りゅうた	現	サ	推
	大阪府	泉大津市議選 高橋のぼる	現	会	公
		豊中市議選 木村 真	現	サ	推
	兵庫県	芦屋市議選 山口みさえ	前	非	推
		西宮市議選 よつや薫	現	サ	推
	香川県	高松市議選 植田まさ	現	サ	推
		高松市議選 太田あゆみ	現	サ	推
8/11	福島県	郡山市議選 へびいし郁子	現	会	推
8/25	千葉県	八街市議選 桜田ひでお	現	会	推

新:新人 現:現職 元:元職 前:前職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員
公:公認 推:推薦 支:支持 援:支援

緑の党 <http://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026 東京都中野区新井2-7-10 サンファスト301
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力を!

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967

欧州議会選挙で
緑の党が大躍進!

「女性と若者が元氣な韓国・緑の党」スピーキングツアー グリーンウェーブをアジアでも

녹색당
GREEN PARTY

韓国

では、非暴力と自発性を重視した若い世代が政治を動かし、キャンドル革命によって国政を私物化した朴大統領を退陣に追い込み、文在寅大統領を誕生させました。「#Me Too」運動の盛り上がりは男性中心の社会を変えつつあります。

韓国緑の党は、昨年統一自治体選挙でフェミニズムと環境政策を掲げた20~30代の候補を立てて善戦し「意味ある波乱」を起こしたと評価されました。現在、来年の総選挙に向けて若者や女性を巻き込んだキャンペーンを準備中です。ゲストの柳慧珍さんから韓国緑の党のチャレンジと戦略についてレポートいただきます。アジアのグリーンズの連携を図り、パワーアップします。

ゲスト:柳慧珍(ユウ・ヘジン)さん



韓国緑の党PRマネージャー/広告業界勤務、大手ポータルサイト「Naver.com」ウェブプランナー、KOICA(韓国国際協力団)PRマネージャーを経て、緑の党に深く関わるようになり4年前から有償スタッフ。来年4月の総選挙に向けて選挙キャンペーン「She Will Run(彼女は候補する)」の準備中。ソウル在住

10/6 日 東京 14:00~16:30

ゲスト:雨宮処凛さん(作家、アクティビスト)

@YMCA アジア青少年センター 3F(水道橋駅7分)



10/7 月 静岡 18:30~20:00

@JR静岡駅ビル パルシェ7階C

10/8 火 大阪 詳細未定

10/9 水 福岡 詳細未定

2021グローバル・グリーンズ大会 inソウル



2021年4月~6月の4日間(日程は年内に決定)、韓国・ソウルで緑の党の世界大会が開催されます。世界約100の国や地域から、環境・人権・平和・草の根民主主義などの第一線で活躍する緑の党の議員やアクティビストが集まります。ぜひいっしょに参加しましょう!

気候問題は最優先課題

私たちは化石燃料や原子力のない未来を信じています

学校ストライキ「Fridays For Future」

スウェーデンの高校生グレタ・トゥンベリさんが昨年の夏に一人で始めた気候変動対策を求める学校ストライキ「Fridays For Future(未来のための金曜日)」はヨーロッパを中心に世界に広がりました。グレタさんはCOP24やダボス会議でもスピーチし、3月15日の初めての世界一斉デモには世界で150万人以上が参加、欧州議会選挙直前5月24日の第2回デモは125カ国2350都市で約180万人が参加、日本でも東京と京都で取り組まれました。このアクションの先頭に立っているのは、10代、20代の若い女性たちです。

気候に投票する時が来た

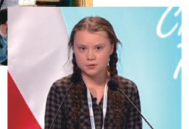
24日のアクションを受けて、欧州議会緑の党リーダーのバス・エイクハウトは「持続可能な地球のために世代間協定が必要」「パリ合意に沿って再生可能エネルギー100%に移行して2030年までにCO2を20%削減し、遅くとも2050年までにカーボンニュートラルにする」「選挙権のない若い人たちも含めたみんなのために気候変動に投票しよう」と呼びかけました。欧州議会選挙をはじめ各地での緑の党躍進は気候変動への危機感の高まりを示しています。

原発も石炭火力も推進の時代遅れの日本政府

「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」が6月11日に閣議決定されました。原発依存を温存のまま、CO2の最大排出源として全廃すべき石炭火力発電も継続推進という「気温上昇を1.5℃以内に抑える」には程遠い時代錯誤の内容です。解決策の見えない技術に依存することなく、再生可能エネルギー100%へ着実に移行する目標とロードマップをはっきり示すことが求められています。



上:5/24 FridaysForFuture Tokyo@霞が関
下:2018.12/12 COP24でスピーチするグレタさん(国連報道センター動画より)



もはや若い頃の余剰はなく時間の余裕もありません

過小評価と偏向の「放射線副読本」回収を!



福島原発事故を経験した日本にとって、これからの放射線教育は、被災者の救済と原発の是非と原子力防災を考える上でもとても大切です。ところが昨年9月に文科省が再改定し、小中・高校生1人1人に配布している「放射線副読本」は福島原発事故の影響を過小評価するだけでなく、放射線被ばく影響から住民と環境を守るべき自治体も、被ばくリスクへの疑問や不安を語ることを恐れ、そのため私たちも検証や真実から遠ざけられています。「まちがった情報」が副読本という形で一方的に子ども達に与えられることは、学校教育への政治的介入、利用でもあります。大阪府茨木市や滋賀県野洲市では、内容に問題があるとして副読本の回収をしています。各自治体での回収を求めるアクションをよびかけます。

選挙供託金違憲訴訟

東京地裁 最悪の不当判決! 弁護団が控訴



5月24日、東京地裁(杜下弘記裁判長)は、弁護団長の宇都宮健児さん曰く「最悪の判決」を下しました。判決は原告の損害賠償を棄却し、供託金の違憲性を認めませんでした。国の主張をそのまま採用して現状を追認し、選挙制度は各国固有として世界一高い供託金300万円の判断も避けました。すべて国会の裁量権に委ねるとする三権分立の司法の役割も放棄した内容です。

本訴訟は高すぎる選挙供託金は、憲法の定める「立候補の自由」と「国会議員の資格の財産や収入による差別の禁止」などに反し、参政権が侵害されたことに対する損害賠償を求める裁判です。原告弁護団は5/31控訴しました。緑の党は今後も参加民主主義の実現に向けて積極的に支援していきます。